

はじめに

一般社団法人ファイブ・ア・デイ（5 A DAY）協会は、「1日5皿（350g）以上の野菜と200gの果物を食べよう」をスローガンとする、野菜を中心とした健康食生活を推進する食育推進団体です。平成14年より活動を開始し、全国の学校や企業、自治体、地域企業と連携し、食育活動を通じて国民の健康食生活を支援しています。

平成26年度は、農林水産省「平成26年度フードチェーン食育活動推進事業」の実施団体として採択され、食品の生産から食卓に至るまでの“フードチェーン食育活動”のモデル開発ならびに実施に取り組みました。食の簡便化・外部化、入手経路の複雑化、食への不安等、日本社会における食の課題は多様化しています。そのような社会背景の中、食を支えるフードチェーン全容の深い理解や、農林漁業や流通の現場に触れる体験は、生活者が食への関心を高め、賢く食品を選択し摂取するための有益な食教育であると考えています。当報告書は、当取組の目的ならびに社会への食育活動の普及推進に資することに賛同した、ファイブ・ア・デイ協会会員企業有志との活動事例をとりまとめたものです。食育に取り組むさまざまな業界、また食育担当者への、今後の活動推進の一助となれば誠に幸いです。

一般社団法人ファイブ・ア・デイ協会

（協働企業 五十音順）

イオン北海道株式会社・株式会社イズミ

カゴメ株式会社・生活協同組合コープおきなわ

株式会社スパーク・株式会社ダイエー

株式会社とりせん・株式会社ベルク

マックスバリュ西日本株式会社

マックスバリュ北海道株式会社・株式会社丸久

平成27年3月

目次

1. 取組の概要と目的	2
2. 取組の流れ	3
3. 取組報告	
1) プログラム開発・講師育成・教材開発	3
2) 実施実績	8
3) 事業効果の検証	24
4) まとめと課題	28